

11月18～20日開催

目黒区商工まつり



新たな生活様式に沿った商工まつりとして、オンライン配信と来場を併用して開催します。講演会、コンサートのほか、友好都市の宮城県角田市・気仙沼市、石川県金沢市の物産販売や区内飲食店舗によるテイクアウト販売なども行います。

目黒区商工まつり運営委員会事務局

(産業経済・消費生活課中小企業振興係内、☎3711-1134、📠3711-1132)

会場開催は区民センターホール(目黒2-4-36)へ。オンライン配信は商工まつりYouTubeチャンネル(コード①)からご覧になれます。



会場で開催

時11月19日(土)10:00~16:15

希望者は
当日会場へ

- スタンプラリー
会場にあるスタンプを集めたかたに、景品をプレゼント
- 友好3都市物産販売
宮城県角田市・気仙沼市、石川県金沢市の物産を販売

- テイクアウト販売
区内飲食店舗によるテイクアウト販売
- 区内事業者の事業紹介ほか



会場で開催と オンライン配信

前夜祭 経済講演会 「渋沢栄一の事業・経営理念 について」

事前申し込みは終了しましたが、キャンセル待ち希望者は当日17:45までに、会場へお越しください。

時11月18日(金)18:00~19:30

📍公益財団法人渋沢栄一記念財団業務執行理事 井上潤氏



会場で開催とオンライン配信

●区民センターホールのイベント

開始時間	内容
9:40	オープニングセレモニー
10:00	テイクアウト販売店・産直店、スタンプラリー景品提供者の紹介
10:20	めぐろ観光検定からクイズ(景品あり)、めぐろの観光地の紹介
11:00	めぐろ商工CMフェスティバル①
11:25	お金について学ぶローカルヒーローショー
12:00	めぐろ商工CMフェスティバル②
12:40	講演「ごみゼロチャレンジとアップサイクルとは」 📍めぐろ環境マネジメントシステム研究会
13:40	めぐろ商工CMフェスティバル③
14:00	講演「外国人採用の壁を破るには」 📍A global harmony株式会社代表取締役 陶嵐氏、 Whita Japan株式会社代表取締役 木村聡宏氏
15:00	お金について学ぶローカルヒーローショー
15:35	めぐろ観光検定からクイズ正解発表・景品(右写真)の授与
15:55	めぐろ商工CMフェスティバル受賞者発表

商工まつりYouTubeチャンネルでも、区内事業者が制作したPR動画をご覧になれます(コード①)。



▲景品のナカメのぼんぼり



会場で開催

クラシックコンサート

事前申し込みは終了しましたが、キャンセル待ち希望者は当日13:45までに、会場へお越しください。

時11月20日(日)14:00開演(13:30開場)

出演 目黒弦楽四重奏団

曲目 モーツァルト「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」ほか



めぐろエコ・プランの取り組み 結果と評価をお知らせします

📍環境保全課温暖化対策係(☎5722-9034、📠5722-9401)

全ての区施設を対象とした地球温暖化対策推進実行計画(めぐろエコ・プラン)に基づき、省エネルギー・省資源活動を推進しています。

3年度の主な取り組み結果と、区民と学識経験者からなる評価委員会による評価内容をお知らせします。今後も、引き続き環境負荷の低減に努めていきます。

◆主な取り組み

- 区施設における省エネルギー活動の推進
- 新築・改築・改修時における省エネルギー設備などの導入
- 低燃費車の導入
- 温室効果ガス吸収作用の保全(区施設などの緑化推進)
- 日常業務でのエコオフィス活動(省エネルギー・省資源活動)の推進

◆温室効果ガス総排出量・エネルギー使用量の削減

▲は減数

	平成25年度 (基準年度)	令和3年度	対基準 年度比
温室効果ガス(二酸化炭素換算)総排出量 (単位:t-CO ₂ -eq)	23,627	18,581	▲21.4%
エネルギー(原油換算)使用量 (単位:kL)	11,701	11,485	▲1.8%

◆評価の要旨

温室効果ガス総排出量とエネルギー使用量ともに、基準年度比で減少しており、省エネへの意識の向上や努力が見られる。コロナ禍での新しい生活様式に合わせながら、工夫して省エネに取り組んでいる。今後は2050年ゼロカーボンシティの実現に向けて、今までの良い施策は継続していくとともに、新たな施策を取り入れてほしい。

📖取り組み結果や評価委員会による評価の詳細は、総合庁舎本館1階区政情報コーナー・6階環境保全課、目黒区エコプラザで配布する冊子「めぐろの環境(環境報告書)」のほか、区HP(コード②)でご覧になれます。



貸室のあり方見直しの基本的な考え方を策定しました

📍資産経営課(☎5722-9876、📠5722-6134)

区有施設見直し計画(4~8年度)に基づき、区施設の会議室や研修室など、貸室のあり方の見直しについて検討を進めています。

6月には、貸室のあり方見直しの基本的な考え方(案)を公表し、意見募集や説明会などで頂いた意見を踏まえ、このたび、貸室のあり方見直しの基本的な考え方を策定しました。

●見直しの目的

- 区民の誰もが幅広く柔軟に利用できる空間とする
- 団体間の連携・協力、多世代交流を促し、地域コミュニティの一層の活発化、団体活動の認知度向上と活動の充実を図る
- 区施設見直しの観点から、施設の快適性・安全性の確保や区民ニーズの変化に的確に対応するとともに、施設総量の適正化、財政負担の軽減を図る ほか

●考え方

- ①位置付けの見直し
会議室や研修室などを一律、区民交流活動室(仮称)とし、さまざまな区民活動を支える場とする。
- ②団体登録制度の見直し
施設ごとの登録団体を一本化し、新たな団体登録制度に移行する。
- ③利用時間割の見直し
より多くの区民が利用しやすいよう、現在の3区分(午前・午後・夜間)の利用時間割を見直す。

📖基本的な考え方(全文)は、総合庁舎本館1階区政情報コーナー・4階資産経営課、地区サービス事務所(東部を除く)、住区センター、目黒駅行政サービス窓口、図書館、貸室のある施設のほか、区HP(コード③)でご覧になれます。

